

平成18年度 定期作況報告

(7月20日現在)

北海道立中央農業試験場

水稻の部

水田・転作科(岩見沢市)

I 気象概況

- 6月下旬：平均気温は平年より0.6℃低く、日照時間は平年の68%、降水量は平年の257%で、多雨寡照に経過した。
 7月上旬：平均気温は平年並で、日照時間は平年の168%、降水量は平年の17%で、少雨多照に経過した。
 7月中旬：平均気温は平年より1.2℃高く、日照時間は平年の87%、降水量は平年の121%で、高温寡照に経過した。
 以上、1ヶ月を通じ気温は平年より0.2℃高く、降水量は平年並、日照時間は平年より2.4時間長く、平年並に経過した。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
最高気温(℃)	20.8	22.2	△ 1.4	23.2	23.0	0.2	25.0	25.7	△ 0.7	23.0	23.0	0.0
最低気温(℃)	14.3	13.6	0.7	13.9	14.8	△ 0.9	18.0	15.0	3.0	15.4	15.0	0.4
平均気温(℃)	17.5	18.1	△ 0.6	18.5	18.5	0.0	21.5	20.3	1.2	19.2	19.0	0.2
降水量(mm)	47.5	18.5	29.0	8.5	49.3	△ 40.8	50.5	41.7	8.8	106.5	109.5	△ 3.0
日照時間(hr)	42.5	62.8	△ 20.3	70.7	42.0	28.7	39.2	45.2	△ 6.0	152.4	150.0	2.4

注) データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成7年～16年10ヶ年平均値を農試が算出し使用。最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

II 作況

水稻 作況：やや不良

事由：幼穂形成期は平年に比べ「きらら397」で6日、「ほしのゆめ」で2日それぞれ遅れた。また観察から止葉期も同程度遅れる見込みである。7月20日における草丈は、「きらら397」で平年比104%、「ほしのゆめ」で96%となりほぼ平年並であった。茎数は、「きらら397」は平年比99%で平年並、「ほしのゆめ」は109%と平年を上回った。主稈葉数は「きらら397」で平年より0.9枚下回った一方、「ほしのゆめ」では平年並となった。

以上、7月上旬から天候が好転したことにより生育は回復傾向にあるが、本年の生育期節は依然遅れているため、現在の作況はやや不良である。

品種名	幼穂形成期(月.日)			止葉期(月.日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	7.12	7.06	6	-	7.22	-
ほしのゆめ	7.07	7.05	2	-	7.20	-
ななつぼし	7.08	-	-	-	-	-

品種名	栽培方法	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			主稈葉数(枚)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	中苗紙筒	58.0	55.7	2.3	781	791	△ 10	9.8	10.7	△ 0.9
ほしのゆめ	中苗紙筒	57.1	59.6	△ 2.5	853	784	69	10.0	9.9	0.1
ななつぼし	中苗紙筒	59.1	-	-	751	-	-	10.0	-	-

注1) 平年値は前7ヶ年中、平成16年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均

注2) 本年より「ななつぼし」(中苗紙筒)の調査を開始した。

注3) 耕種概要

土 壤：細粒グライ土
 施 肥：高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1.5t/10a
 播 種 量：中苗紙筒=180cc/箱 栽 植 密 度：30×13.3cm 25株/m² 4本植え
 移 植 方 法：手植え 反 復：2

畑作の部

畑作科(長沼町)

I 気象概況

6月下旬：気温は最高気温が低く最低気温は平年並みのため、平均気温で0.6℃低かった。降水日数および降水量とも平年より多かった。日照時間は平年よりやや少なかった。

7月上旬：気温は最高気温が平年よりやや高く最低気温は低かったことから平均気温は平年並みとなった。降水日数および降水量とも平年より少なかったことから、日照時間は平年を大きく上回った。

7月中旬：気温は最高気温は平年並み、最低気温は平年より高いことから、平均気温は平年よりやや高かった。降水日数および降水量とも平年よりやや多かった。日照時間はほぼ平年並みであった。

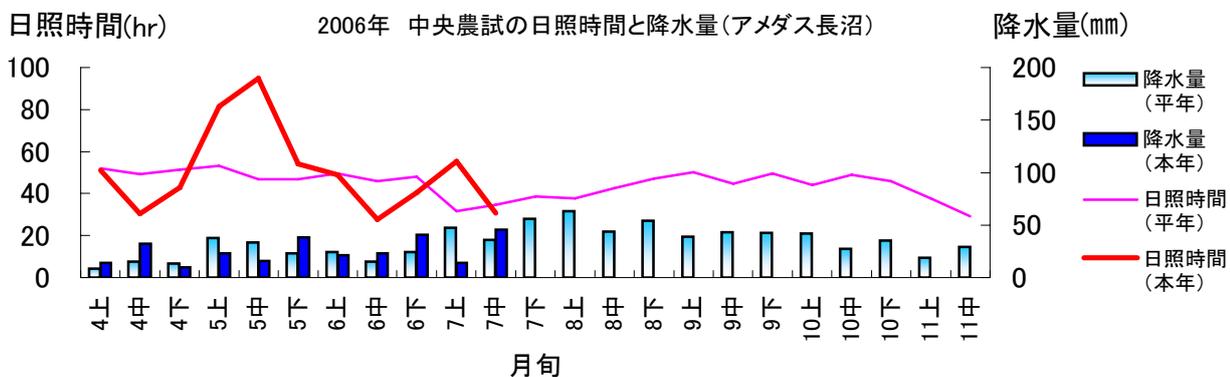
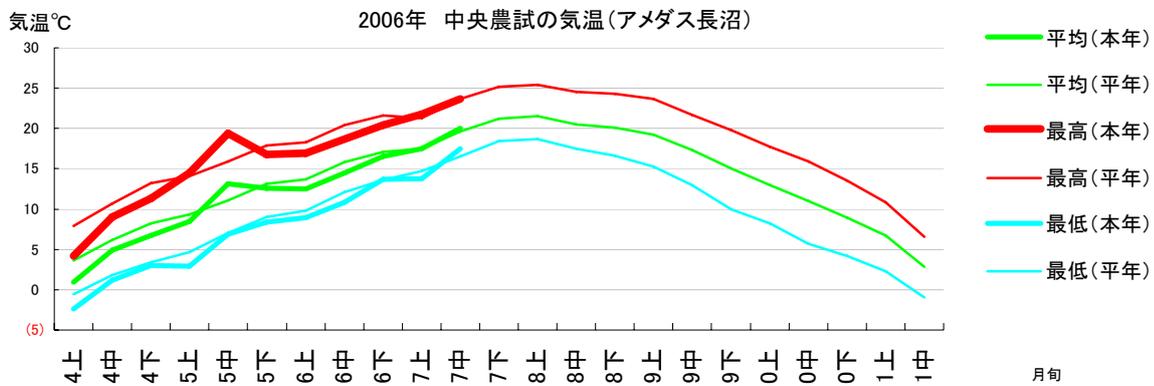
以上、1ヶ月を通じてみると、気温は6月下旬が低く、その後は平年並みで経過した。降水量、日照時間はほぼ平年並みであった。

6月下旬～7月中旬気象表

項目	6月下旬			7月上旬			7月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	16.5	17.1	△0.6	17.5	17.5	0.0	20.0	19.6	0.4	18.0	18.1	△0.1
最高気温(℃)	20.4	21.6	△1.2	21.8	21.3	0.5	23.7	23.7	0.0	22.0	22.2	△0.2
最低気温(℃)	13.7	13.6	0.1	13.8	14.7	△0.9	17.5	16.5	1.0	15.0	14.9	0.1
降水量(mm)	41.0	24.5	16.5	14.0	47.6	△33.6	45.5	36.0	9.5	100.5	108.1	△7.6
降水日数(日)	4.0	2.8	1.2	3.0	3.9	△0.9	5.0	3.5	1.5	12.0	10.2	1.8
日照時間(hr)	40.3	48.0	△7.7	55.2	31.6	23.6	30.7	34.8	△4.1	126.2	114.4	11.8

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成8年～17年の確定値を10年間農試で平均し、本年値は平成18年の確定値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。



II 作況

1. 秋まき小麦 作況：平年並

事由：7月以降、天候は回復傾向であるが、成熟期は「ホクシン」で平年より遅れており、「ホロシリコムギ」も遅れる見込みである。稈長、穂数は両品種とも平年を大きく上回ったが、穂長は短い。登熟期間の日照不足傾向もあり、子実の充実不足が懸念される。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	成熟期(月.日)			倒伏程度			稈長(cm)			穂長(cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	-	7.24	-	3.1	1.5	1.6	111	97	14	7.8	8.8	△ 1.0
ホクシン	-	7.18	-	0.0	1.1	△ 1.1	99	88	11	7.8	8.9	△ 1.1

品種名	穂数(本/m ²)		
	本年	平年	比較
ホロシリコムギ	802	539	263
ホクシン	846	619	227

注1) 平年値は前7か年中、最凶(H12年)、最豊(ホクシンH15、ホロシリH16)を除く5か年平均(収穫年度)。

2) △は平年より早、短、少を表す。

3) 倒伏程度：成熟期における倒伏程度。0(無)～5(甚)の6段階評価。

2. 春まき小麦 作況：やや良

事由：前月に引き続き6月下旬までの気温が低かったことから、出穂期は平年より4日～5日遅かった。両品種とも稈長は平年よりやや長く、穂長は平年並で、穂数は平年を上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

品種名	出穂期(月.日)			稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m ²)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ハルユタカ	6.25	6.20	5	88	86	2	8.4	8.3	0.1	508	464	44
春よ恋	6.24	6.20	4	98	93	5	8.5	8.5	0.0	542	463	79

注) 平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、14年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、「春よ恋」の草丈・茎数は前6か年平均。

3. 大豆 作況：やや不良

事由：6月下旬は低温に経過したため、生育は停滞気味であったが、7月に入り気温が回復したことから、現在の生育は主茎長で3～5cm、主茎節数で0.6～0.7節平年を下回っている。現在、「ツルムスメ」が開花始であり、開花期は平年より遅れている。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	-	7.20	-	42.6	45.7	△ 3.1	10.5	11.1	△ 0.6	5.5	5.7	△ 0.2
ユウヅル	-	7.29	-	36.5	42.1	△ 5.6	10.2	10.9	△ 0.7	4.3	3.3	1.0
トヨムスメ(参考)	-	7.17	-	44.8	51.1	△ 6.3	9.4	9.7	△ 0.3	5.0	6.4	△ 1.4
スズマル(参考)	-	7.25	-	34.8	40.8	△ 6.0	10.6	10.5	0.1	7.3	7.4	△ 0.1

注) 平年値は前7か年中、平成14年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、トヨムスメ、スズマルは、前5か年の平均を平年とし参考値を示す。

4. 小豆 作況：平年並

事由：7月上旬の天候回復により生育が回復したことから、主茎長は平年よりやや短いものの、主茎節数および分枝数はほぼ平年並となった。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	開花期(月.日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリモショウズ	—	7.25	—	20.0	21.0	△1.0	7.9	8.0	△0.1	2.9	3.0	△0.1

注) 平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

5. ばれいしょ 作況：平年並

事由：萌芽後の低温のため、開花始は6月28日で平年より6日遅れたが、その後の天候回復により生育は急速に回復し、茎長は平年を上回り、茎数は平年並である。また、特に目立った病虫害の発生は認められない。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	開花始(月.日)			茎長(cm)			茎数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵薯	6.28	6.22	6	46	40	6	5.4	5.3	0.1

注) 平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、17年(最豊)を除く5か年平均。

6. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。